

令和3年第1回（2月）掛川市議会定例会
代 表 質 問 発 言 順 序

- 1 創世会 (15番 二村禮一君)
- 2 アクティブマネジメント・公明クラブ
(9番 松浦昌巳君)
- 3 共に創る掛川 (4番 鈴木久裕君)

令和3年第1回(2月)掛川市議会定例会
代表質問発言順序(予定)

3/5 AM

創世会 (15番 二村禮一君)

アクティブマネジメント・公明クラブ
(9番 松浦昌巳君)

3/5 PM

共に創る掛川 (4番 鈴木久裕君)

代表質問通告要旨

【会派名：創世会】

議席番号	15	氏名	二 村 禮 一	質問の方式（一問一答・一括）
------	----	----	---------	----------------

1 新型コロナウイルス感染症施策について

（答弁：市長）

新型コロナウイルス感染症が世界中に拡大し、早1年余りが経過した。未だ先行き不透明な状況下においても、掛川市民が生き生きと暮らしていただける令和3年度施策が必要である。そこで、以下の新型コロナウイルス感染症施策について伺う。

- (1) 中東遠総合医療センターにおける、軽症者受け入れによる満床状態の回避策に、いかなる支援を講じるのか伺う
- (2) 家庭などから支援を受けることが困難な自宅療養者に対し、どのような支援策をとるのか伺う
- (3) 内閣府による、地方公共団体の取り組み支援策「新型コロナウイルス感染症対応地方創世臨時交付金」の今後の積極的活用策を伺う
- (4) 数年にわたる財政難が予測される中で、市内の医療と経済を守るため早急かつ柔軟に予算執行することを目的とした「新型コロナウイルス感染症対策基金（仮称）」等を創設できないか伺う
- (5) 掛川観光協会で新型コロナウイルス感染症対策店舗認定ステッカー制度を実施いただいたが、会員のみが対象となっている。市として独自の認定制度及びPR活動を行い、市内全域で全店舗対象に安心して来店できる環境づくりに取り組む考えがないか見解を伺う

2 公共施設マネジメントについて

（答弁：市長、教育長）

平成27年度に「掛川市公共施設等総合管理計画」を策定し、令和元年度には公共施設の再配置（案）を示し、新型コロナウイルス感染症の影響により説明会が思うように開催できない状況ではあるが、今年度は大東温泉シートピア等の個別の案件にも取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症により、市の財政はさらにひっ迫し、公共施設マネジメントの重要性は、より一層高まったと言える。今後の公共施設マネジメントの取り組みについて伺う。

- (1) 再配置（案）を見直す考えがあるのか伺う
- (2) さかがわ幼稚園は、園児数の減少が顕著であり、来年度は近隣に新規保育園を建設することからも早急な対応が必要と考えるが、市長の見解を伺う
- (3) 学校再編計画の素案は学区の変更を検討しているか。また、今後のスケジュ

ールを伺う

3 令和3年度当初予算に関して

(答弁：市長、教育長)

令和3年度の当初予算案は「未来への飛翔力をはぐくむための予算」として昨年度比23億円減の一般会計484億8,000万円となる。昨年は、新型コロナウイルス禍での自粛が続き、市民にとって我慢の一年であった。来年度早々には、ワクチン接種の目途も立ちつつある中で、私たち市民生活が通常の状態に一日でも早く戻ることを何よりも望んでいる。

来年度がまさに「飛翔」の年になるように令和3年度当初予算関連事業について伺う。

- (1) タブレット授業の導入に伴い、教員への十分な研修が行われるのか伺う
- (2) 静岡県立横須賀高校の今後に関して、「南遠地域教育環境整備推進協議会」が立ち上がり、市の協力体制を得て南遠地域の教育環境を考える機運が醸成される中、施設拡充の際に必要な候補地を先に用意する考えはあるのか伺う
- (3) 遠州横須賀街道に関して、昨年に続き無電柱化等検討事業が新規事業として仕切り直しされるが、沿道建築物の調和、柵里の似合う町並み景観と災害を踏まえた無電柱化の進め方と地下の対策について伺う
- (4) 掛川茶のPR事業に関して今後、静岡県立大学で茶の効能研究が発表された場合に本市としてどのようなPR展開をするか伺う
- (5) 庁舎天井改修事業の工事スケジュールと、庁舎利用者の安全確保策及び利用制限について伺う
- (6) DX推進・地方分散を受けた都市づくり計画策定事業に関して、計画づくりに1年をかけるようでは、時代の変化に対応が難しい。スピード感を持ち対応すべきと考えるが見解を伺う
- (7) 就任以来、3期12年にわたる市政運営を振り返り、成果とやり残したことは何か、また、新市長に最も託したいことは何か伺う

代表質問通告要旨

【会派名：アクティブマネジメント・公明クラブ】

議席番号	9	氏名	松浦昌巳	質問の方式	(一問一答)・一括
------	---	----	------	-------	-----------

1 掛川市令和3年度当初予算について (答弁：市長、教育長)

新型コロナウイルス感染拡大により、生活や経済活動にも大きな影響が出ている。掛川市の令和3年度当初予算は、コロナショックをより良いまちづくりのチャンスと捉え、「未来への飛翔力を育むための予算」とした。先を見据え力を蓄えるための事業計画となっているということだが、未来へつながる予算となっているのか市長の所見を伺う。

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響で、市税収入が減少し将来的に財源不足が予想される。財政調整基金も年々減少している状況だが、掛川市財政の健全化に向けた市長の所見を伺う
- (2) コロナ禍では、医療従事者への負担が増大した。特に中東遠総合医療センターでは昼夜を問わず対応をしていただいている。医療従事者への心身のサポートや慰労金、そして感謝の気持ちを伝える取り組みはできないか伺う
- (3) GIGAスクール構想の実現に向けて、令和3年度の具体的な取り組みについて、教育長の所見を伺う
- (4) 行政事務・行政サービスのICT技術活用の拡大で、職員のアイデアや意見が見える化し、良いアイデアを出した職員に対し、表彰等の評価をするべきと考えるがいかがか

2 コロナ禍における市民との協働、連携について (答弁：市長、教育長)

世界中でまん延している新型コロナウイルス感染症は、それぞれが意識を高く持ち、常に我がこととして行動をしなければ終息を迎えることはない。行政が中心となり、市民を巻き込んだ取り組みをすることが大きな成果につながると考えるが、市長と教育長の所見を伺う。

- (1) 三密の回避など、コロナ対策啓発ポスターを小中学生で募集できないか伺う。また、小中学生がこのコロナから何を学び、今後それをどのように活かしていくのか教育長に伺う
- (2) コロナ禍での商店の新たな取り組みなどをまとめて、市民が利用しやすい方法をPRし、市民相互で助け合える仕組みを作るべきと考えるがいかがか
- (3) 市内5つの高校とは包括協定を結んでいるが、コロナ禍だからこそ高校生の意見や未来への希望などを討論するワークショップやオンライン会議などが

できないか伺う

3 災害に強く安全で安心な暮らしを支える基盤を整えたまちについて

(答弁：市長)

新型コロナウイルス感染症も大きな災害の一つだが、南海トラフ地震や豪雨災害などは突発的、連続に襲いかかってくる可能性がある。市民の安全・安心を守るために、今後どのような取り組みをしていくのか伺う。

- (1) 各地域に配布したタブレットの利用状況と、タブレットを利用した今後の取り組みを伺う
- (2) 平成31年4月に施行された、「防災意識の高いまちづくりを推進する条例」について、条例の効果と課題、今後の取り組みについて伺う

4 掛川茶の振興と力強い農業の確立について

(答弁：市長)

掛川市の茶業を持続的に発展させていくために、掛川市茶振興計画を見直すということだが、現実には毎年茶農家は減少し、栽培面積も生産量も減少している。お茶の効果などの試験や掛川スタディ、そして静岡県立大学での研究なども進められているが、一刻も早い政策を実行しなければならないと考える。そこで、市長の所見を伺う。

- (1) 緑茶の効能、効果などあらゆる研究が実施されているが、現在の研究成果と展望を伺う
- (2) 基盤整備事業や「人・農地プラン」を推進する場合、担い手が重要となる。その担い手がないことが一番の問題となっているわけだが、農家の後継者や法人、企業が参入しやすい支援や助成などを行なうべきと考えるが、市長の所見を伺う

代表質問通告要旨

【会派名：共に創る掛川】

議席番号	4	氏名	鈴木久裕	質問の方式 (<input type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括)
------	---	----	------	---

1 新型コロナウイルス感染症に係る予防接種の実施について (答弁：市長)

新型コロナウイルスに対するワクチン接種は、対策の切り札として、市民から大きな期待が寄せられているところである。大卒については厚生労働省により全国統一的な扱いが示されていることと承知しているが、掛川市の実施方法とそれに向けた準備状況等について伺う。

- (1) 会場型接種、医療機関における個別接種、高齢者施設等への巡回接種など、どのような方法で行う予定か伺う。また、予定している会場名及び医療機関数を伺う
- (2) 一日あたり何人くらいに対して実施していける見込みか伺う
- (3) 高齢者、基礎疾患を有する者、高齢者施設等従事者、その他の者、それぞれの接種期間は、概ねいつ頃から始まりいつ頃までに終わると見込んでいるか伺う
- (4) それぞれの区分ごと、接種券の配布はいつ頃されるのか伺う
- (5) 接種希望者の予約方法は、どのように考えているか伺う。また、2回目の予約は、いつどのように行うことを想定しているか伺う
- (6) 指定した期間に接種できなかった方への対応はどうか、また接種をためらい指定した期限内に接種を受けなかった方に対してはどのような方針で臨むのか、改めて推進等していくのか伺う
- (7) 会場や医療機関に自ら赴き難い交通弱者にはどのような支援を考えているか、また、在宅の療養者等はどのように受けることを想定しているか伺う
- (8) 掛川市における実施方法の詳細は、いつ頃、どのような方法で周知していくのか伺う。また、個別の疑問に対してはどのように対応していくのか伺う

2 松井市政三期12年の総括について (答弁：市長)

松井市長は、リーマンショックの影響さなかの2009年4月に就任。翌年には大幅な税収減を強いられるなど当初から厳しい環境下での船出となり、東日本大震災の影響による防災対策、国策の「一億総活躍社会」の影響による保育所や学童保育など子育て支援充実対策、最後はコロナ対策など、世界や国、社会情勢の大きなうねりを受ける中での難しい舵取りの連続で苦労されてきた。12年の総括を伺う。

- (1) 自治基本条例で規定した自治組織としての「地区」と協働のまちづくり推進

条例に基づく「まちづくり協議会」の関係性について、現状の評価と今後の展望について伺う

- (2) 未解決状態である和田岡原地内の誤登記問題の解決時期、着地点などの展望を伺う
- (3) 合併以来ずっと関係条例が未整備のままとなっていた板沢、上内田四区、南郷、倉真の4財産区について、解決に向け概ねの行程が示された。「管理会制」をとっている他の正規の4財産区と併せ、今後の財産区のあるべき姿、地域住民あるいは全市民との関係性、情報共有のあり方と、これらを包括する市における財産区の位置づけ・活かし方について所見を伺う
- (4) 総じて、12年間において、前進した・達成した・成し遂げたと評価している政策課題について伺う
- (5) 次期政権に申し送りすべき政策課題にはどのようなものがあると考えているか伺う
- (6) 松井市政12年の「レガシー」について、代表的なものを3つだけ挙げて欲しいと言われたら何を挙げるか伺う
- (7) 自治基本条例や住民投票条例の制定など、これまであった行政手続条例や情報公開条例などと併せ、近代的・民主的な地方自治体運営の基本制度を整備させたことの意義と功績は大きかったと思う。当市におけるこれら制度の運用についての現状認識と、今後の民主的な地方自治発展に向けた展望について伺う